

令和8年度 学校教育アンケート結果（前期）

お忙しい中、多くの皆様にご回答いただきありがとうございました。

アンケートの結果から、全体的には、多くの項目で達成率90%前後を維持しており、生徒・保護者・教職員ともに学校運営への評価は高い状況です。特に「学校生活の充実」「授業改善」「いじめ対応」「部活動」「情報発信」については高い達成率が得られており、学校満足度や自己肯定感に向上が見られます。

一方で、「家庭学習」「気持ちのよい挨拶」「交通マナー」「地域行事への参加」については、学校全体の共通課題として捉え、後期の改善課題として取り組んでまいります。各項目の達成率から検証し、今後の具体策等について示しておりますのでご覧ください。

なお、記述によりいただきましたご意見については、対応が可能なものについては可能な限り今後の教育活動で改善してまいります。

※色付きは変更や追加項目					達成率・・・(A+B)/(A+B+C+D)×100					±5%の増減			
A そう思う B ややそう思う C あまりそう思わない D そう思わない ? 分からない					A	B	C	D	?	R8前期 達成率	比較	R7前期 達成率	判定
教育課程・学習活動	1	生徒	私は、大洲北中学校が好きである。	人	158	129	20	13	9	89.7		89.8	A
				%	48.0	39.2	6.1	4.0	2.7				
		保護者	学校は、「好きです北中！」と心から言える生徒の育成に努めている。	人	62	163	13	4	58	93.0		92.0	A
				%	20.7	54.3	4.3	1.3	19.3				
		教職員	学校は、「好きです北中！」と心から言える生徒の育成に努めている。	人	10	16	1	0	0	96		96.8	A
				%	37.0	59.3	3.7	0.0	0.0				
	2	生徒	私は、楽しく充実した学校生活を送っている。	人	184	122	11	3	9	95.6		96.2	A
				%	55.9	37.1	3.3	0.9	2.7				
		保護者	わが子の学校生活は楽しく充実している。	人	97	177	18	5	3	92.3		91.7	A
				%	32.3	59.0	6.0	1.7	1.0				
		教職員	生徒たちの学校生活は楽しく充実している。	人	7	20	0	0	0	100		96.9	A
				%	25.9	74.1	0.0	0.0	0.0				
	3	生徒	私は、授業に集中するとともに、進んで家庭学習にも取り組んでいる。	人	78	162	57	25	7	74.5	↓	92.9	B
				%	23.7	49.2	17.3	7.6	2.1				
		保護者	わが子は、進んで家庭学習に取り組んでいる。	人	35	133	98	34	0	56.0	↑	50.8	C
				%	11.7	44.3	32.7	11.3	0.0				
		教職員	生徒は、自分から進んで学習に取り組んでいる。	人	1	19	5	0	2	80.0	↑	72.4	B
				%	3.7	70.4	18.5	0.0	7.4				
4	生徒	先生は、教え方を工夫し、分かりやすい授業に努めている。	人	162	138	14	3	12	94.6		94.2	A	
			%	49.2	41.9	4.3	0.9	3.6					
	保護者	先生は、分かりやすい授業に努めている。	人	50	169	16	1	64	92.8		92.9	A	
			%	16.7	56.3	5.3	0.3	21.3					
	教職員	私は、教え方を工夫し、分かりやすい授業を展開している。	人	5	17	0	0	5	100		100	A	
			%	18.5	63.0	0.0	0.0	18.5					
分析・今後の指向	・学校生活の充実感や北中生としての所属感については、昨年同様、生徒・保護者・教職員のいずれからも高い評価を得ることができています。このことは、新たな環境で迎えた新年度、エールリーダーを中心に全校で練習に励んだエール交換や開校記念式典を通して学んだ南北両校の歴史理解が、学校全体として一体感や愛校心を高めることにつながったのではないかと考えます。これからも、持続可能な取組の在り方を考えながら、次の世代にもつなげていければと考えます。 ・学習活動においては、生徒の落ち着いた学習態度や教職員による授業改善が、分かりやすい授業の展開につながっているのではないかと考えます。一方で、家庭学習の定着や主体的な学習への取組については課題が見られます。「進んで家庭学習に取り組んでいるか」の項目において、保護者の達成率が低いだけでなく、生徒においても20%近い数値の下落が見られました。このことは、今年度生徒の評価項目に「進んで家庭学習に」を加えたことで生徒自身が具体的な評価を行うことができたためだと考えられます。今後は、各教科の課題の出し方や「自主学習」、「あゆみ」への取組について見直しを図り、学習習慣や基礎学力の定着に向けて進めてまいります。また、生徒会で実施している「本気の一週間」に学芸委員会などがタイアップし、「自主学習ノート」の提出率でクラスマッチやブロックマッチを行うなど生徒の意欲向上に努めてまいります。												

生徒指導	5	生徒	私は、 自分から 気持ちのよい挨拶をしている。	人	115	155	37	13	9	84.4		80.2	A
				%	35.0	47.1	11.2	4.0	2.7				
		保護者	生徒は、気持ちのよい挨拶ができています。	人	43	166	37	13	41	80.7		79.7	A
				%	14.3	55.3	12.3	4.3	13.7				
		教職員	生徒は、気持ちのよい挨拶ができています。	人	1	13	13	0	0	51.9	↓	59.4	C
				%	3.7	48.1	48.1	0.0	0.0				
	6	生徒	先生には、悩みなどの相談がしやすい。	人	91	154	45	23	16	78.3		74.7	B
				%	27.7	46.8	13.7	7.0	4.9				
		保護者	学校は、相談しやすい雰囲気である。	人	68	163	16	5	48	91.7		89.4	A
				%	22.7	54.3	5.3	1.7	16.0				
		教職員	学校は、生徒や保護者の相談に適切に対応している。	人	10	17	0	0	0	100		100	A
				%	37.0	63.0	0.0	0.0	0.0				
	7	生徒	学校は、いじめや生徒間のトラブル等に適切に対応している。	人	142	104	23	9	51	88.5		91.2	A
				%	43.2	31.6	7.0	2.7	15.5				
		保護者	学校は、いじめや生徒間のトラブル等に真剣に取り組んでいる。	人	67	143	13	3	74	92.9		92.3	A
				%	22.3	47.7	4.3	1.0	24.7				
		教職員	学校は、いじめや生徒間のトラブル等に対し、十分取り組んでいる。	人	14	12	0	0	1	100		96.8	A
				%	51.9	44.4	0.0	0.0	3.7				
	8	生徒	先生や友達からよいところを認められている。	人	142	128	11	4	44	94.7		91.6	A
				%	43.2	38.9	3.3	1.2	13.4				
		保護者	先生は、生徒のよいところを認めている。	人	89	136	12	3	60	93.8		94.6	A
				%	29.7	45.3	4.0	1.0	20.0				
		教職員	私は、生徒のよいところを認める教育に努めている。	人	13	14	0	0	0	100		97	A
				%	48.1	51.9	0.0	0.0	0.0				
	分析・今後の指向 ・挨拶については、生徒の質問項目に「自分から」を加え、評価基準を分かりやすくしました。生徒、保護者は概ね気持ちのよい挨拶ができていると回答していますが、教職員の多くは、まだ良くなると考えているようです。挨拶は、社会人として、他者と関わりながら自らの人生を舵取りする上での重要な基礎となるものです。生徒会を中心に活動内容を見直し、生徒自ら挨拶がしたくなるような工夫を取り入れることで、挨拶運動の輪を広げていきます。 ・教育相談については、定期テストの期間中に相談体制を整えていますが、生徒全員が気軽に相談できる状態にはまだ達していないことがうかがえます。普段から何気ない声掛けを行ったり、コミュニケーションの場の設定を工夫したりして、よりよい人間関係づくりに努めていきます。 ・いじめや生徒間のトラブル等への学校の対応について、保護者評価が90%を超えていることは大きな強みだと考えます。学校が組織的にいじめやトラブル対応を行っていることが、家庭にも伝わっていると考えられます。今後も、教職員全体が同じ歩調で声掛けをできるよう意識統一を図り、生徒の異変に早期に気付く、見逃すことが無いよう組織で関わっていきます。家庭でも何か不安に思うことなどがありましたら、学校までご相談ください。												
健康・安全	9	生徒	私は、部活動に真面目に取り組んでいる。	人	209	84	12	2	22	95.4		94.1	A
				%	63.5	25.5	3.6	0.6	6.7				
		保護者	学校は、部活動の充実に努めている。	人	96	147	13	8	36	92.0		89.7	A
				%	32.0	49.0	4.3	2.7	12.0				
		教職員	生徒は、部活動に真面目に取り組む、充実した活動ができています。	人	8	17	1	0	1	96.2		100	A
				%	29.6	63.0	3.7	0.0	3.7				
	10	生徒	私は、学校の施設や設備などを正しく安全に使っている。	人	255	69	1	0	4	99.7		98.5	A
				%	77.5	21.0	0.3	0.0	1.2				
		保護者	学校は、生徒の安全確保や事故防止に配慮している。	人	89	166	7	4	34	95.9		94.2	A
				%	29.7	55.3	2.3	1.3	11.3				
		教職員	私は、教育の場にふさわしい環境を整えている。	人	10	16	1	0	0	96.3		100	A
				%	37.0	59.3	3.7	0.0	0.0				
	11	生徒	北中生は、 交通ルールやマナーがよく守れている。	人	81	164	56	7	21	79.5	↓	97.2	B
				%	24.6	49.8	17.0	2.1	6.4				
		保護者	生徒は、交通ルールやマナーが守れている。	人	27	173	56	17	27	73.3		74.9	B
				%	9.0	57.7	18.7	5.7	9.0				
		教職員	生徒は、交通ルールやマナーが守れている。	人	0	12	14	1	0	44.4	↓	62.5	C
				%	0.0	44.4	51.9	3.7	0.0				

分析・今後の指向	・部活動への積極的な取組が、生徒の居場所や自己有用感の向上に貢献していることがうかがえます。今年度も、3年生を中心に地区総体で好成績を上げ、県総体に多くの生徒が参加しました。県総体でも、熱戦を繰り広げ部活動で積み重ねてきたことが形となって表れるとともに、最後まで諦めず一生懸命な姿を見ることができました。今後は、部活動の地域展開に向けて、関係機関と連携を取りながら、生徒一人一人の活躍の場と成長の場の提供に努めてまいります。 ・交通ルールやマナーを守ることにについては、前年度に比べて生徒自身の評価と教職員の評価が20%近く下落しています。このことは、生徒の評価項目の主体を「私」から「北中生」へと変更したことで客観的な判断ができるようになったからだと考えます。また、4月の改正道路交通法における自転車への青切符適用に合わせ、今年度から「北中版青切符」を導入して自転車の安全利用について指導を行っていることも大きな要因だと考えます。今後も、北中版青切符を活用しながら生徒に交通ルールを守ることへの意識を高めてまいります。そのためにも、登下校の見守りや生徒への声掛けの機会を増やすとともに、学校運営協議会や児童生徒をまもり育てる協議会等へ協力を依頼し、地域全体で子供たちを育てていければと思います。また、活動の様子や生徒の変容などを生徒指導通信等で保護者にもお知らせし、命の大切さや交通安全の意識向上に向けて働き掛けてまいります。												
	家庭・地域連携	12	生徒	私は、通信等をきちんと渡すなど、学校の様子を伝えている。	人	189	104	22	6	8	91.3		91.9
				%	57.4	31.6	6.7	1.8	2.4				
保護者			学校は、通信・メール・HP等で、学校や生徒の様子をよく伝えている。	人	147	141	8	2	2	96.6		98.8	A
				%	49.0	47.0	2.7	0.7	0.7				
教職員			学校は、通信・メール・HP等で、学校の方針や生徒の様子を適切に伝えている。	人	17	10	0	0	0	100		100	A
				%	63.0	37.0	0.0	0.0	0.0				
13		生徒	私は、学校行事だけでなく、地域行事にも積極的に参加している。【追加】	人	53	77	118	60	21	42.2		—	C
				%	16.1	23.4	35.9	18.2	6.4				
		保護者	私は、学校行事や地域行事に可能な限り協力している。【追加】	人	43	178	49	20	10	76.2		—	B
				%	14.3	59.3	16.3	6.7	3.3				
		教職員	学校は、学校行事や地域と連携した教育活動の推進に努めている。【追加】	人	13	13	1	0	0	96		—	A
				%	48.1	48.1	3.7	0.0	0.0				
分析・今後の指向	・学校と保護者との連携においては、生徒、保護者、教職員ともに達成率が90%を超えており、良好な状態といえます。今後も状況に応じて、紙媒体での連絡とミライムレターによるお知らせを使い分けていきます。ご家族どなたでも登録できますので、教頭までご連絡ください。併せてホームページの更新・伝言板の効果的な活用やタイムリーな学校だより、学級通信を発行することで、教育活動の様子を家庭や地域に発信し、学校・生徒の様子をお伝えしていきます。 ・本年度からPTAの地域委員を廃止しました。そのため、PTC活動についても廃止となりました。各家庭に届く回覧板や広報誌などから情報を得ながら、各家庭で地域の活動にも積極的にご参加いただければと思います。なお、学校でも各自治会の行事案内などの掲示コーナーを新たに設け、生徒への啓発活動を行っています。また、これまで体育大会は、地域委員さんに保護者用テントの運搬・設営をお願いしていましたが、今年度から全家庭に対してミライムレターで協力依頼を行います。ご協力のほどよろしくお願いいたします。												